

鶴岡信用金庫の環境への取組みについて

地域の中で最も身近で、便利で、頼りになる地域金融機関を目指している「鶴岡信用金庫」は、地域社会の一員として、地域社会の繁栄に貢献することを経営の基本方針としています。

当金庫は、豊かな自然に囲まれた山形県庄内地域を営業基盤としており、ここ庄内の自然環境を守り、また地球温暖化対策など環境問題に取り組むことは、企業の社会的責任（CSR）として捉えています。

【鶴岡信用金庫環境方針】

＜基本理念＞

環境問題に取り組むにあたっては、当金庫の事業活動における省エネルギー・省資源対策を講ずるとともに、地域金融を通じてお客様の環境対策をご支援することを基本に下記の「環境方針」のもと取り組んでいきます。

＜環境方針＞

1. 事業活動に伴う光熱エネルギー・資源エネルギーの削減に努めます。
2. 環境保全に役立つ金融商品の取り扱い、サービス・情報の提供を通じて、環境保全に取り組まれるお客さまを支援します。
3. 地域の自然環境の保全を目指し、環境問題に関する地域貢献活動に取り組みます。
4. 環境保全活動への取り組みについては、具体的な行動目標をアクション・プログラムに定め、その達成に努めます。
5. 事業活動に関する環境法規制及び業界の行動指針等に従い、環境問題に取り組みます。
6. 役職員に対する環境教育を実践し、環境方針の周知を図ります。

【山形県ふるさとの川アダプト事業への参画】

地域における環境貢献活動として「山形県ふるさとの川アダプト事業」(内川清掃)の活動を継続実施しています。本部・本店営業部職員が参加し、内川(千歳橋～開運橋)に散乱している空き缶・発泡スチロール・ビニール容器等の除去作業を行っています。



【羽黒山（出羽三山）の境内及び参道の清掃ボランティア活動の実施】

羽黒山の境内及び参道の清掃活動は、平成 17 年に当金庫の創立 80 周年記念事業としてスタートし、以後毎年活動を実施しています。羽黒山（出羽三山）は当地におけるシンボリックな存在であり、古来より「日本三霊場」のひとつとして全国から多くの参拝者で賑わっています。当金庫の地域貢献活動の一環として、参拝者から気持ちよく当地を訪れてもらうことを目的に、毎年多くの役職員の参加により清掃活動を実施しています。



【やまがた絆の森づくり活動への参画】

当金庫と山形銀行、山形県、鶴岡市は、地域住民や企業等が気軽に森づくりに参加し、活動の成果を実感することができる「やまがた絆の森」の仕組みを構築し、森づくり参加者の増加と森林による二酸化炭素の吸収源対策を推進することを目的に「やまがた絆の森づくり活動」を協働で進める協定を締結しています。平成 22 年 10 月より毎年、月山やすらぎの森（鶴岡市羽黒町）2ha の森づくり活動を実施し、環境保全活動に取り組んでいます。



【カーボンオフセット通帳の活用による CO₂ 排出の削減】

通帳を発注すると、発注した通帳の製造工程で発生する CO₂ 等の温室効果ガス排出を完全に排除することは困難であることから、当金庫では平成 22 年より、カーボンオフセット通帳を採用し、発生した CO₂ を、クリーンエネルギー事業活動（自然エネルギー利用や森林保護）への投資により CO₂ の排出削減活動に協力しています。

【環境にやさしい商品】

環境にやさしいハイブリッド自動車・電気自動車当の新車購入や、地球温暖化対策（省エネ対策）のリフォームをされる方への優遇金利をご用意しています。（※詳しくは当金庫ホームページをご覧ください。）

【クールビズ・ウォームビズの実施】

本部並びに全営業店の環境運動として夏期の空調機の温度を28℃に、冬期は20℃に設定し、クールビズ・ウォームビズを実施しています。

<http://www.tsuruoka-sk.jp/>